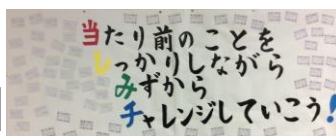


チャレンジ 『challenge』



令和4年12月15日

文責 安井 仁

生きてるだけで100点満点

12月8日、「いのちの大切さ伝え隊」の本家勇子さんと牧田妃佐子さんに来校していただき、「命の旅 命の誕生」をテーマに命の出前授業を行っていただきました。中学生のこの時期は、心が不安定になったり、性に対する関心が過度になったり、逆に毛嫌いする時期でもあります。お話の中で、命の誕生の仕組みだけでなく、今ここにある命は何億人もの先祖たちによって受け継がれた命であることや1/3億の精子と卵子が会う奇跡から生まれた命であること、そして自分自身が母親のおなかの中から命がけで産まれてきた命であることなどお話をいただきました。今回の講演で、「性」を知ることは自分の大切さに気づくことだと改めて考えさせられました。命は大事だと多くの人が理解しています。しかし、本当の意味で大切にできているのでしょうか。「性」についてご家庭で話をすることは大切だとわかっていても難しいものです。しかし自分や他人を大切にすることの大切さは伝えられるのではないのでしょうか。日々の行動で自分の未来の可能性を狭めている人、何気ない日常会話の言葉遣いなど今一度振り返ってみてほしいと思います。



冬休みに向けて

先週6日、冬休みの課題として購入していただいたウィンターワークを配布し、1回目を冬休みまでに自学ノートに、2回目は冬休みの課題として直接ワークに、そして3回目は冬休み明けテストの勉強として間違った個所を自学ノートにするという取り組みを始めています。残念ながら7日の自学提出状況は100%とはいきませんでした。多くの生徒は自分の将来のために、前向きに取り組んでくれているようです。前回の通信にも書きましたが、繰り返しやるなかで自分に合った勉強方法を見つけてほしいと思います。また今回ワークと一緒に配布したノートは、PTA 学級役員の皆様と相談し、学級・学年活動費から購入させていただきました。漢字ノートと英語ノート、大学ノートの3冊は後日配布させていただきます。ご了承ください。

また、3学期にはキャリア教育として「働くこと」について学びます。将来のビジョンが少しでも見えてくると踏ん張りが効くものです。なぜ働くのか、どんな仕事があるのか、その仕事にはどうすれば就けるのか、自分にはどんな仕事に向いているのかなど学習していきます。そこで少し時期が早いですが、お子さんや保護者の皆様が今現在、中学校卒業後どのような進路を考えておられるのか把握し、今後の指導に役立てるために進路希望調査を実施したいと思います。12月21日・22日には保護者懇談があります。是非ご家庭でも将来の話をさせていただきますようお願いします。

※12月20日に予定していました標準学力テストは令和5年1月13日に延期になりました。